



こどもの四季

第7号
2020年
4月1日発行

編集: 副院長 岡本友樹

新しい始まりの季節ですね

まだまだ新型コロナウイルスの話題が続いています。福岡でも流行の兆しがみられており、引き続き生活への影響が非常に大きいですね。しかし、4月は始まりの季節です。ウイルス対策はしっかりと行いつつ、少しずつ新しい生活へ気持ちを切り替えていきましょう。

今回の「こどもの四季」は溶連菌感染症、クリニックの新しいホームページと院長コラムです。

高熱で喉が痛い、小児科では珍しく抗生剤が必要な溶連菌感染症！

新型コロナウイルスの話題で溢れていますが、1月ごろから溶連菌感染症が密かに(?)流行しています。もともと1年中みられる感染症ですが、冬と春～夏ごろにかけて多くなります。4～10歳くらいの学童に多く、繰り返しかかることもあります。大人もかかることがあります。

左のグラフの赤い線が今年の1月から3月の福岡での報告数です。今年は特に多かったのですが、3月後半になって少し落ち着いてきた印象です。しかし、4月に新学期が始まるとまた増えてくるかもしれません。

A群β溶血性連鎖球菌(溶連菌)という細菌が原因で、高熱が出て、喉が痛くなる病気です。体に発疹がみられることもあります。

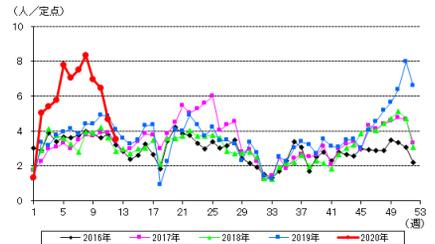
迅速検査キットがあり、喉を綿棒でこすって検査すると診断できます。熱が出たり喉が痛くなる子どもの病気はウイルスが原因のことが多く、子ども自身の免疫力で自然と回復していきます。しかし、溶連菌感染症は細菌が原因であるため、小児科では珍しく細菌をやっつける抗生剤が必要となります。

抗生剤での治療を開始すると1～2日で熱は下がり、喉の痛みは引いていきます。すぐに元気になりますが、確実に溶連菌を退治するためには抗生剤での治療を10日間続けなければいけません。途中でお薬をやめると再発することがあり、また溶連菌は稀にリウマチ熱という心臓や神経に影響する怖い病気を起こすこともあります。くしゃみや咳により家族内や幼稚園・小学校で感染が広がるため、抗生剤は最後まできちんと内服しましょう。

溶連菌感染症後に糸球体腎炎という腎臓の病気を起こすことがあります。尿に血液やタンパク質が漏れ出し、赤い尿が出たり、顔がむくんだりします。以前は溶連菌感染症の治療後に尿検査を行っていましたが、最近の報告によると尿検査はあまり重要ではなく、尿の色や顔のむくみに注意をして様子を見ていくことが大切だとされています。

当クリニックでも全員には尿検査はせず、溶連菌感染症の後は症状の再発や赤い尿、顔のむくみに注意して様子を見ていただくようお願いしています。

なお、溶連菌感染症は抗生剤を開始して24時間経ち、熱が下がっていれば他の人には移りませんので登園・登校が可能となります。(副院長)



クリニックのホームページをリニューアルしました！

おかもと小児科クリニックのホームページをリニューアルしました。新しいアドレスは、<https://www.okamotokids-c.com/>です。

下記のQRコードからもご覧いただけます。

スマートフォンでの表示にも対応いたしました♪

当クリニックの診療・予防接種・健診についてのご案内だけでなく、こどもの病気や子育てについての情報を発信し、お父さん・お母さんのお役に立てるホームページにしています。

当クリニックで開催している「子育てカフェ」の申し込みもホームページからできるようになりました。

その他、タティングレース教室や院内イベントの案内なども掲載しています。

また、ホームページのリニューアルに合わせてクリニックのブログも開設いたしました。ブログでは、よりタイムリーな話題を提供していきます。なお、この院内報「こどもの四季」のバックナンバーもホームページからご覧になれます。まだまだ準備中のページもありますが、どんどん更新していきますのでよろしくお願いいたします。(副院長)



新しいホームページのQRコードです。

院長コラム

卒業式と入学式

今年の卒業（園）式や入学（園）式は、特別なものになりました。昨年12月から中国武漢に始まった新型コロナウイルス（以下COVID19）の世界的な流行によって、社会生活とともに学校生活も大きな影響を受けています。子どもたちが受ける精神的また身体的影響は想像つかないくらい大きいと思います。

得体の知れないウイルスによって大人が次から次に入院し隔離され、高齢者の中には死亡する人もいて、連日新聞テレビが大騒ぎしています。大人社会のことかと思っていたら、突然国の総理大臣が「これから2週間すべての小学校・中学校・高校は休校にします、多くの人が集まるイベントも中止を要請します」と宣言しました。これを冷静に受け止めることができた子どもはいないと思います。

特に日本では、これからの季節は、卒業（園）と入学（園）という子どもたちにとって重要な節目の時期だからなおさらです。またなんの備えもなく、学校から締め出され在宅を余儀なくされた子どもたちの親の驚きも相当であったと思います。特に現在働く人の40%は非正規雇用やパート労働に従事していて、子どものために仕事を休むのは経済的にも至難のわざです。政府や自治体は、学童保育や一部教室での受け入れもしましたが、COVID19流行阻止のための学校停止なのに一方では学童保育や教室で子どもを集めるというちぐはぐなことが起こっています。政府、自治体には透明性のある首尾一貫した対策を行ってほしいと思います。

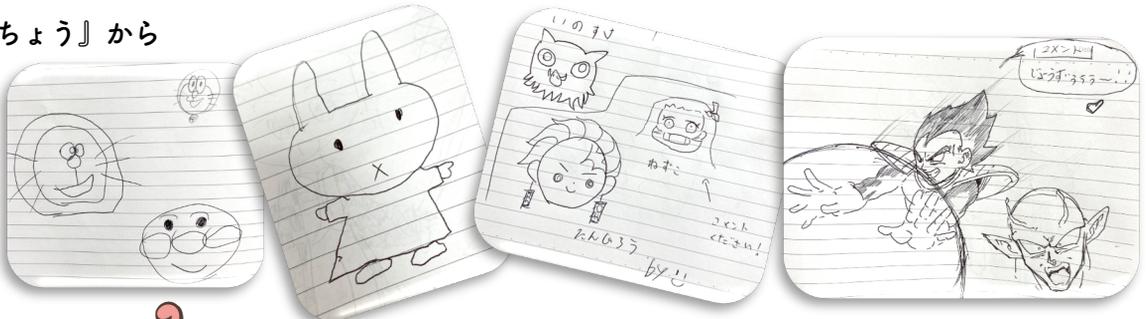
さて、大人は子どもたちにどう対応すべきでしょうか。私は、子どもたちにそれぞれの年齢に応じて、わかりやすく現在の状態、なぜ学校が休みなったのか、なぜマスクが必要なのか、人混みに行かない方がいいのか、なぜ大好きなクラブ活動ができないのか、十分説明してやることだと思います。子どもは子どもなりに理解し納得してくれると思います。

聞くところでは、卒業式や卒園式はかなり時間短縮と出席制限をして行われたようです。大切な行事が変則的になって残念ですが、ずっと後にはそれが楽しい思い出になることもあります。これから行われる入学（園）式も含めてそうなることを願わざるを得ません。

（院長）



『じゅうちょう』から



Rose Memory

これは歌人若山牧水（1885〜1928）の和歌です。宮崎県に生まれ早稲田大学英文科に進み、新聞社に職を得るも5ヶ月で退社。歌人としての活動を始めます。静岡県沼津市の千本松原の景観に魅せられて移住。その後、静岡県が計画した千本松原伐採に際し反対運動の先頭に立ち計画を断念させました。

また、「白玉の 齒にしみとほる 秋の夜の 酒はしづかに飲むべかりけり」という下戸の私でもお酒を飲みたくなるような素敵な歌も詠まれています。

今年もクリニックの横の池の周りにたくさんのお山櫻が咲きそろっています。

うすべにに 葉はいちはやく 萌え出でて
咲かむとすなり 山櫻花

お知らせ♪

新型コロナウイルス感染症の流行により、下記のイベントは変更となる可能性があります。

【ローズホールイベント】

子育てカフェ

日時：4月14日(火) 13時～14時半

参加費：無料

内容：クリニックを受診する目安

タティングレース教室

日時：月末の土曜日 13時～15時

（受付にご確認ください）

参加費：1,000円/人（材料費別）



おかもと小児科クリニック

〒813-0025

福岡市東区青葉2丁目8番34号

TEL: 092-691-0012

FAX: 092-691-0013

HP: <https://www.okamotokids-c.com/>